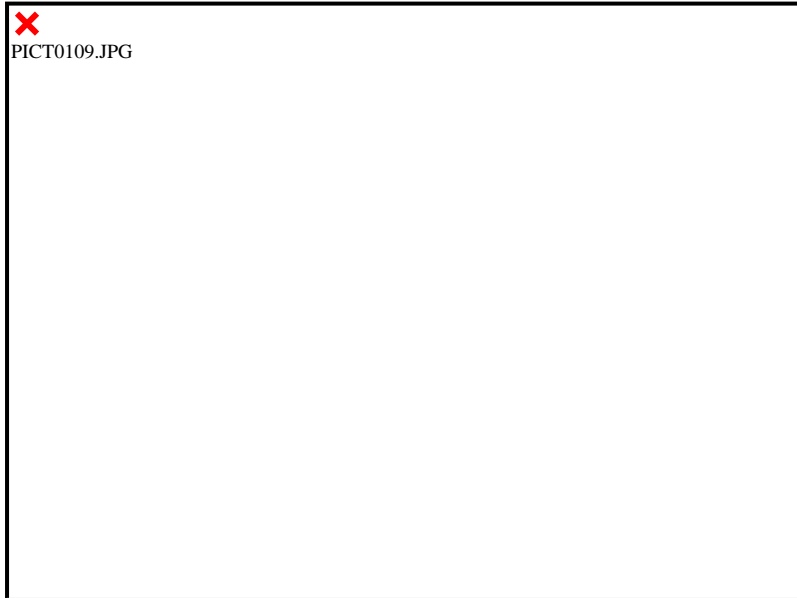


マインドマップ特集

ダ・ヴィンチコードで有名なダヴィンチもマインドマップを使っていたそうです。
**おすすめコンテンツの一つ、このページには大きく分けて
マインドマップ(メモリーツリー)と教科書を使った簡単記憶法があります。
どちらもオススメなので是非活用してください。**

本を読むときの効果的な学習方法をご紹介します。



これはクエスチョンキットと呼ばれるものです。

文章を読むとき、このマップでチェックしていくと効果的に覚えることができます。ためしに簡単な文章を読みながらこのマインドマップを広げていってください。地理の場合はいつ誰かを気候ごとにわけてそれぞれ枝を伸ばしていけばOK。マインドマップは”巨大なアミ”マインドマップで知識というチョウをつかまえればチョウはアミの一部になる。チョウを捕まえるたびにマインドマップのアミはどんどん大きくなり、知識をつかまえやすくなる。以上参考本 マインドマップ FOR KIDSより



F0001.JPG

ダ・ヴィンチのノート



SCF0002.JPG

脳の使い方をマインドマップであらわしたもの

ダ・ヴィンチコードで有名なダ・ヴィンチの天才の秘密は
ノートのとり方にあったのかもしれない・・・

上記の画像はマインドマップノート術より引用なのだが
偉大なのは脳そのものではなくノートのとり方なのだという。

天才といえばダヴィンチをはじめ ピカソ アインシュタイン
ダーヴィンといった人が思い浮かびますがその人たちに共通しているものがノートのとり方な
んです。

思考が放射線状に広がっていくままに忠実にノートをとっているという点です。
彼らの時代には、脳の研究がそれほど進んでいなかったのだが
脳の働きに即したノートのとり方を実行しているというのは驚きである。

ダヴィンチのノートは一枚で脳全体が活用されているのがわかります。

文字、数、論理、イメージなどが溶け込んで
全体のイメージを見事にとらえているのです。

また、ダヴィンチは
「頭脳の有効利用のための原則」として
4つの項目を残しています。
特に4つ目のたがいの分野を独立したものとせずに
関連させることはとても重要なことだといえます。

「頭脳の有効利用のための原則」

「頭脳の有効利用のための原則」

- ・ 芸術の科学を学べ
- ・ 科学の芸術を学べ
- ・ 五感を磨け 特に視覚が重要である
- ・ すべてが、ほかのすべてと結びついている
ことを認識せよ。

脳はいつでも**放射状の思考**を行っています。

好きなものを食べているとき、誰かと話しているとき
かおりをかいているとき、言葉、におい、音、感触など
あらゆる知覚や思考が融合して
一つの情報のかたまりとして伝えられています。

情報のかたまり一つから

情報の枝があたかも打ち上げ花火のように広がっているのです。

枝の先にある情報はさらに関連した情報の枝葉が伸びていきます。脳はこのように放射状に思考を広げながらアイデアを出したり考えを深めていくのです。

天才ダヴィンチは**放射思考**によって生み出したアイデアで暗号を隠すことができたのだと思います。

[ドラゴン桜のTOPに戻る](#) > > [マインドマップ特集](#)

[図解・マインドマップノート術](#)を参考にさせていただきました。

マインドマップとは頭の中を模写するツール。メモリーツリーともいいます。メモリーツリーはドラゴン桜で一躍有名になりましたがマインドマップは昔から知られていたみたいです。

社会などいろいろな数字が出る場合でも項目別に整理できるからおぼえやすい。

普通のメモなら記憶の断片だけでわかりづらいですがマインドマップ（メモリーツリー）なら時間が経っていてもその時の**思考が構造化**されているのでとても思い出しやすいです。

ドラゴン桜で出てきた[メモリーツリー](#)は理科や社会の勉強に有効だとされています。ドラゴン桜で出てきたメモリーツリー＝マインドマップは後輩の東大生が大学で使っているのをそのまま作品に載せたもの。絵や色を使って図解的に覚えることで左脳だけでなく右脳も効率よく使えるというわけです。

アイデアを出す時にも使える

紙は横に使えばスペースを有効に使うこと。それから思った事を思ったままに描いていい事も大切。書くスピードより脳が考えるスピードの方がはやい。脳の流れをとめないようどんどん書いておくことが大切。**脳を抑制する必要はないのである。**

天才たちの思考のカギはノート法にあった。

天才ということ エジソン アインシュタイン ピカソ・・・であるが実は彼らには共通したノートのとりかたがあったのである。普通人なら箇条書きに書いてあることがおおいだろうが天才たちは**放射状**にノートを活用しているのである。

打ち上げ花火のように広がる放射状こそ脳の思考である。

（天才たちは大き目の紙を横に使用し、脳に適したノートの使い方をしていたのだ。）一枚のノートに数 イメージ 順序 分析など様々な事柄が溶けこんだノート作りをしていて脳全体を使っていたことがわかる。

そのノートのとり方こそ**マインドマップ**なのである。

きれいなノートはできるノートではありません。

きれいなノートでは脳の働きと一致しないので退屈なのである。
効率も上がらないうえ時間がかかってしまうノートのとり方では効果が薄くなってしまふ。

マインドマップの作成の方法を知らなかったのだからそれは仕方がない。
しかし マインドマップの存在を知ったあなたには今日からでも活用してもらいたい。
ただし 学校でこのテクニックを駆使したノートを提出すれば怒られるかもしれないので(笑)
そのあたりはうまくやってもらいたい。

作り方とは

中心に無地の紙を横に使用し中心に絵を描く
このイメージにはできるだけ枠をつけず必要であればキーワードを書く。
イメージは1000の言葉に匹敵するのだそうだ。
そこから枝をつけていくのである。その枝は直線ではなく曲線で描くこと。
太く描けば重要さを印象付けることができる。
枝一つにキーワードは一つが基本。

もし行き詰まったら優れたマインドマップを参考にすることも効果的。
とりあえず枝だけでも書いておくと**脳が自然と働き出す**。
ちょっとしたことでもメモすることでどんどん広がっていくのだ。

イラストを利用する事で右脳は活発になる他楽しみながら作成できるという利点がある。
絵が苦手な人のために[アイコン集](#)など[図解・マインドマップノート術](#)には用意されている。

もしキーワードを忘れてしまったら

これこそマインドマップの真髄ではないかと思えます。
忘れたキーワードを空けておき その周辺に覚えているイメージや
キーワードを書き込んでいくのです。思い出すままどんどん
書いていけば忘れていたキーワードが浮き彫りになっていくはずで
思い出すためのヒントがいくつもあるのです。

これは三語脳で書いてあったことですが受験で必要な知識というのは
ヒントやきっかけがないと思い出しにくいいためグループ化したり多くのヒント
と関連付けて覚えていたほうが思い出しやすいというわけです。

こんな時にも有効、決断したい時、迷った時

たとえば引越しを考えている時 引越しをするかしないかで枝分かれ
つくっていき点数をつけていくのだ。

例えば通勤 する場合 きつくなるので-30など思いつくまま書いていく事で、
さまざまな角度から見ることができ、
さらに点数化することで決断がはやくなるのである。

[例1](#) これらは脳に浮かんだイメージを具体化する訓練。

[図解・マインドマップノート術](#)には様々なマインドマップの例が掲載されています。数多くの例を見る事で脳を刺激してくれること間違いないだろう。

人に見せることにも利点がある。

よりわかりやすく見せようとしたり、書きなおす事で思考がより洗練される。より強調してみせることで脳の中のイメージが忠実に描かれる。

フォトリディング 10倍速く本が読める 神田昌典著フォレスト出版という本では一生忘れないノートのとり方としてマインドマップが紹介されておりグループ化することでより一層記憶に残るということでした。

マインドマップを作成した後、コピーをとりあとから関連する物を同じ色で色分けしていくという方法も効果的だそうです。

マインドマップなら

決断する事
まとめること
計画する事
集中する事
問題を解決する事
記憶する事
アイデアを出す事
優先順位を決める事
さまざまなことが解決されるのである。



[ドラゴン桜のTOPに戻る](#) > > [マインドマップ特集](#)

さらにもう一つの整理法を紹介しておきます。少し時間がかかるかもしれませんが教科書熟読、要点整理には最適です。

教科書インプット7法則

第1ポイント

教科書をよみはじめます

読む途中で知らない語がでてきたらチェック印をつけながら素早く読んでいきます。

キーワードや主題となる文章はアンダーラインを引きながら読みます

読み終わった後チェック印の語句を辞書などで調べきちんと覚えておきます。

アンダーラインを引いた位置を覚えておきます。

第2ポイント

文章の主題とその内容を記憶しながら読みます。

文章を読みながらキーワードや主題となる文章を で囲みます。

第3ポイント

前段階で印をつけた部分をきちんと再び読みます

文章を読みながらキーワードや主題となる文章は で囲みます

第4ポイント

再びインプットするため重要な部分の前後に気をつけながら慎重に読みます。

文章を読みながらキーワードや主題となる文章は で印をします

第5ポイント

繰り返し読んで見ましたが見逃したところがあるかもしれないので謙虚になりながら読みます

起承転結や5W1Hなどに気をつけ、 と整理していきます

第6ポイント

鉛筆を後ろ向きしてアンダーラインを引くように読みます

チェックした部分を正確に把握しながら読みます

写真の位置やチェックした記号や場所も覚えておきます。

第7ポイント

教科書全体を1枚の絵のようにページ全体を覚えます。

簡単にいうと大事だと思われる部分には印が多くつくというわけです。メモリーツリーと同じように記号や印をつけることでイメージで覚えられるためこのページは丸暗記しておきたいという時に特に有効です。英語や日本史などでも利用できます。全体の文脈や大事なポイントを見つける力もついていきます。教科書だけでなくやり終えた問題集などを利用して結構使える方法です。ただ時間がかかるのでこのページはまるごと覚えたい時に有効。普段の勉強は社会などは教科書を読んだらすぐに問題を解く。この方法が一番です。

<その他>

教科書の利用法で簡単な方法は 大事なところに線を引いて まわりのあいてるところに大事なポイントを書き込んでいく、これぐらいなら書かなくても覚えられると思っていても人間は忘れてしまいます、覚えようとしたことさえ忘れてしまう時があるので、気になったことはどんどん言葉でメモをしていく。こうやって教科書を黒くしていく、教科書をノート代わりにするというわけ。こうやって覚えられる人は活用してください。

[ドラゴン桜のTOPに戻る](#) > > [マインドマップ特集](#)